



北海道 病院経営

履修証明
プログラム

アドミニストレーター 育成プログラム



修了要件

全6科目の合格認定(全96時間のうち、各科目2/3以上の出席(受講)とレポートの提出が必須)および最終課題の審査(提出物の内容及びプレゼンテーションの評価)の合格が必要です。全ての科目の合格認定を受けた方には、履修証明書を交付いたします。

受講料 253,000円 (履修証明取得にかかる費用)

※本プログラムは、厚生労働省特定一般教育訓練講座に指定されており、一定の条件を満たした場合、受講費用の40%が修了後にハローワーク(公共職業安定所)より支給されます。プログラム開始前に手続きが必要となります。詳細は厚生労働省特定一般教育訓練講座をご確認ください。

申込方法

下記ホームページをご参照ください。

<https://obs-huhma.jp/>

小樽商大 HUHMA

検索



受講場所

小樽商科大学 札幌サテライト

〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル 3F

TEL:(011)218-6377 FAX:(011)218-6378



Brush up Program
for professional

文部科学大臣認定
職業実践力育成プログラム

Hokkaido Universities Consortium
for Hospital Management Administration <HUHMA>

制度を「読む側」から、
地域医療の未来を「つくる側」へ

医療機関経営の分析、戦略立案、そして実行。
制度・政策の理解を基盤に、
持続可能な地域医療の革新を担う
起業家的行動能力(アントレプレナーシップ)を育む。

国立大学法人北海道国立大学機構

小樽商科大学

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

<お問い合わせ先>

北海道病院経営アドミニストレーター育成拠点事務局

E-mail re-current-hm@office.otaru-uc.ac.jp



OTARU UNIVERSITY
OF COMMERCE

<https://www.otaru-uc.ac.jp/>

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻
小樽商科大学グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門

少子高齢化、人口減少、医療需要構造の変化、財源制約、テクノロジーの進化——医療機関を取り巻く環境は、かつてない速度で変化しています。これからの医療経営に求められるのは、現場を深く理解しながらも、制度・政策・データを読み解き、地域全体の未来像を構想し、組織を動かす力です。HUHMAプログラムは、医療現場で働くあなたが、10年後の医療機関経営を担うリーダーへと進化するための実践的経営教育プログラムです。

こんな悩みはありませんか？

- 経営会議で何が議論されているのか、正直よく分からない
- 診療報酬改定や医療政策の話が、現場業務と結びつかない
- データを使った説明や提案を求められるようになってきた
- 管理職・経営層としての視点を求められていると感じる
- このまま今の仕事を続けていて良いのか、と将来に不安がある
- 長期的に支え合える人材ネットワークを作りたい

ひとつでも当てはまる方へ



■ 教育プログラムが醸成する3つの力

- ▶ 経営指標や地域医療データを読み解き、院内外の経営環境を構造的に把握する「分析力」
- ▶ 医療政策や地域動向を俯瞰し、不確実な状況でも根拠をもって判断できる「意思決定力」
- ▶ 理念と戦略に基づき、医療経営や地域連携の企画を形にし、実際に動かすための「実践する力」

■ 受講対象者

病院経営を学びたい、すべての医療関連従事者

- ◆ 医師や看護師をはじめとする医療従事者 ◆ 医療機関に勤務する事務職員
- ◆ 医療関連産業に携わる方(製薬・医療機器等) ◆ 地方自治体に勤務する職員 など

運営責任者挨拶

小樽商科大学大学院商学研究科 アントレプレナーシップ専攻

教授 藤原 健祐



医療機関経営に必要なのは、「経営を知っている人」ではなく、現場を理解し、地域と未来を見据えて判断できる人材です。本プログラムは、目の前の課題に答えを与える場ではありません。変化の続く医療環境の中で、自ら問いを立て、考え、実践し続けるための「思考の軸」を育てます。次の10年を担う仲間とともに、学び合えることを楽しみにしています。

受講生の声



社会医療法人社団 カレスサッポロ カレス記念病院 診療技術部長 兼 リハビリテーション部部长 小島 伸枝さん

受講のきっかけ

自分が管理を担う11科9専門職からなる集団が病院経営に貢献するためには、どんな知識が必要かを学びたいと考えていました。他団体の講習会にも参加しましたが、偶然新聞でHUHMAを知って応募しました。

—仕事現場での還元— 医学研究は批判的吟味が必要ですが、仲間たちから肯定的な吟味を受けることの喜びを学びました。診療報酬の改定では国の方向性を見るようになった実感があります。専門職に求められていることを先んじて実践していきたいです。

—メッセージ— 明日すぐ活かせるというよりも、医療業界での思考過程と実践力を学ぶ講座であり、視野を広げるためには本当にお勧めです。また様々な仲間と繋がっていきける面白さもあります。キャンパスライフという感じを久しぶりに体験してみませんか？

「診療報酬改定で、国の方向性を見るように」

■ テーマと開講科目

開講科目は全6科目(96時間)で、積み上げ式になっています。一部科目の部分受講も受け付けています。履修証明書の発行は、6科目の受講が複数年度(2年間を想定)にまたがっても可能です。



STEP3 地域と未来をデザインする

▲ ヘルスケアデータ活用ハンズオン [9時間] ・地域ヘルスケアシステムプランニング [18時間]
データと構想力を用いて、実行可能なプランを描く力を身につけます。

STEP2 医療機関経営を立体的に理解する

▲ 病院経営特論 [24時間] ・地域ヘルスケアマネジメント [24時間]
病院単体ではなく、制度・地域との関係性の中で経営を考える視点を養います。

STEP1 経営の共通言語を身につける

▲ 経営学入門 [6時間] ・マネジメントの知識と思考法 [15時間]
医療の世界を、「経営の言葉」で説明できるようになることを目指します。

※学校教育法第105条「履修証明制度」に基づき、規定の要件を満たした学習プログラムを修了したことによって交付される、大学で学んだことを証明するもの

社会人が学びやすい受講設計

理論と実務を結ぶ講義体制

2004年に設置された本学ビジネススクールでは、これまでに多くのMBAホルダーを育成してきました。経験豊富なOBS講師陣に加え、それぞれの分野の一线で活躍する専門家を招聘し、充実した教育プログラムを提供する体制を構築しています。



働きながら学べる受講環境

授業は主に平日夜間(18:30-21:40)に開講します。モジュール型(集中連続)授業では、1回の授業を2時限連続(90分×2=180分)で実施し、集中的に学びます。アクセスの良い札幌サテライト校での開講に加え、講義のリアルタイム遠隔配信やアーカイブ配信、オンラインでの課題管理など、社会人が学びやすい環境を整えています。

分野を横断して学べるプログラム

地域包括ケアシステムが示すように、患者さんのケアは病院だけで完結するものではありません。介護・福祉、ソーシャルビジネスなど、地域医療を広く捉えた多様な分野を横断的に学びます。あわせて、人的資本経営やPXX・EXにもフォーカスします。

多様な専門職とつながるネットワーク

自施設での日常業務だけでは出会うことのない多様なバックグラウンドを持つ受講者と学ぶ合うことで、新たな視点や発想を得る機会となります。プログラム修了後も、シンポジウムの開催などを通じて、本学で培ったネットワークを継続できる仕組みを整えています。



学習成果を証明する履修証明書

全6科目の修了認定を受けた方には、専門的な学習を修めたことを証明する履修証明書(Certificate)を小樽商科大学より交付します。



江別市立病院 事務局経営企画室医事課 主査 坂田 敦さん

受講のきっかけ

当時、経営陣や各部署長に経営に関する分析や提案をする部署で働いており、問題を提起するためには、まず分析をきちんとできるようになろうと学びの場を探していました。HUHMAの医療経営に特化したカリキュラムに魅力を感じ、受講にいたしました。

—仕事現場での還元— プログラムを通じて学んだ各種分析方法は実用的なものとして使用しています。例えば、SWOT分析で自院の力量を考え、国の医療政策に対してSTP分析で自院の方向性を定めるなどしています。

—メッセージ— 病院経営に特化したプログラムであり、基礎+αが学べます。最初から自己学習するよりも、効率的に学ぶことができると思います。仕事をしながらの受講は大変ではありますが、同期と共に学ぶことで頑張れることも多々あります。

「フレームワークを使って、自院の方向性を説明できるように」